

姫島村商工会、姫島女将の会

～令和7年2月12日(水)訪問～ 【姫島村】



姫島村は、周囲約17kmに約1,700人が暮らし、全域が瀬戸内海国立公園に指定されるとともに、「火山が生み出した神秘の島」をテーマとして日本ジオパークにも認定された風光明媚な離島です。

姫島村商工会は、島内の69事業者で構成され、経営改善、販路開拓、事業継承、デジタル化推進、各種相談等の事業を実施しています。姫島女将の会は、観光客の誘致で島を盛り上げようと、約15年前に島内の飲食店や宿泊施設の女将8名で結成され、「姫島かれい祭り」や「姫島車えび祭り」に参加されているほか、「姫島車えびしゃぶしゃぶフェア」を開催するなど、島の活性化に取り組んでいます。

懇談では、島で採取される「長命草」を利用した商品を販売する会社を高齢者3名で立ち上げた方や、オーストラリアから移住されオージーコーヒーショップを開いた方などから、高齢者がより活躍するための支援や、インバウンド推進のための環境整備の必要性等について話をお聞きしました。また、県内の離島同士の交流促進へのご要望もいただきました。

商工業振興や観光客誘致への熱心な取組に感謝を申し上げ、さらに魅力的な姫島村になるよう、県としても支援するので、引き続きご尽力いただきたいとお伝えしました。



関連分野における県の施策(令和7年度)

☆事業名:【新】地域未来創造総合補助金

事業概要:人口減少が進む中、魅力ある地域を未来へ継承するため、地域住民等が行う魅力ある地域づくりや特色ある取組を支援

予算額:5億円

☆事業名:【特】おおいた地域づくり活動支援事業

事業概要:特色ある地域活性化の取組の担い手確保・持続的発展を図るため、市町村から推薦のあった地域づくりに活躍しているひとや団体を登録し、活動紹介や参加者募集を行う特設サイトを開設

予算額:950万円

※【新】は令和7年度からの新規事業

【特】は本県の課題を解決し、新しいおおいたを創りあげる「新しいおおいた共創枠」